

## ■『とちおとめ』とは？

栃木県農業試験場が育成し、1996年に品種登録された「久留米49号(とよのか×女峰)」と「栃の峰」の交配種です。平均15g前後と「女峰」よりも大きく日持ちもよく、酸味は低く、甘みが強いのが最大の特徴。果汁もたっぷり。人気も知名度も非常に高く、日本を代表する品種であります。

『とちおとめ』の最大生産地である栃木県は、いちごの収穫量全国1位です。2006年度のイチゴ収穫量は3万200トンで、「あまおう」で知られるライバル・福岡県(1万8200トン)を大きく引き離し、記録が残っている1968年以降、39年連続して1位を記録。作付面積(647ヘクタール)と出荷量(2万7600トン)も全国1位であります。



前述の4品には、左記の『とちおとめ』マークを統一でデザイン。甘くて大きい『とちおとめ』を、売り場でも印象付けます。

『いちご』という定番フレーバーを異なるブランドで同時に展開することで、お客様に選ぶ楽しさを提供していきます。

### ■一般の方からのお問い合わせ先

株式会社ロッテ

TEL:0120-302-300 (フリーダイヤル)